



経験・革新・ パートナーシップにより進展投資

国際金融公社（IFC）は、民間セクター企業に投資し技術援助・アドバイザーサービスを提供し、貧困削減及び人々の生活改善の手助けをしている。2005年度、IFCは開発途上国と開発移行諸国で持続性のある民間セクター奨励に重要な役割を果たした。同公社は、採算面で記録的な成果を上げ開発面で測り知れないインパクトを達成した。

本年度…

- 津波救済事業を支援する為、IFCは、東南アジアのパートナー企業に対しマッチング贈与プログラムを設定した。またIFCは回復支援の為に観光融資制度を設立した。
- IFCはグローバル貿易金融プログラムを設定し、それにより銀行が困難な市場の危険を付保し貿易金融を提供しやすくした。
- 世銀と共に、IFCは事業実行年次報告書を通じたりして、開発途上国の投資環境を引き続き査定した。
- ストラクチャードファイナンスと現地通貨金融によって、IFCは多くの革新的取引を増やすようにし、それによって国内金融市場を構築した。
- IFCは、再生可能なエネルギーに対する投資を増やしカーボン金融展開を手助けした。
- 同公社は、インフラストラクチャー、健康衛生などの公共サービスへの民間参入面で政府に助言し、2005年度にはそのような取引が25件進行している。
- 贈与国と協力して、IFCは、特にアフリカと中東で、小企業の為の資金調達と高リスク・低所得経済圏に力点を置き、60カ国以上で金融市場技術援助を後押しした。
- IFCは主として女性起業家と草の根事業を率先して支援した。また同公社はアフリカ・ビジネススクールの地域連合設立を手助けし、HIV/エイズへの対策を立てる面で民間企業を支援した。
- IFCは、政府、IFCの顧客・パートナー、また民間部門の代表者などと広範に相談し、安全政策、情報開示政策及び環境・健康・安全指標を見直した。
- マルタとティモールレステがIFCに加入し、加盟国が178カ国になった。

戦略的目標

- 資金調達手段拡大。IFCでは一層小さな企業、住宅金融、リースに重点をおき資金調達取得の道を拡大すべく金融機関と共に作業している。IFCの助言と革新的商品により金融市場を強化してもいる。
- キーセクターへの民間参入増大。インフラストラクチャーと社会セクターで、IFCは重要なサービス提供への民間参入を増大させる新しい方法を促進している。
- 企業の成長を成功させる手助け。競争力を持ったグローバル企業にならうとしている多くの顧客企業と共に、IFCでは、標準を引き上げて成果を向上すべく長期金融とグローバルな経験とを提供している。
- 必要性が最も高い領域に焦点。高リスク・低所得の国々で、IFCは資本と助言を駆使して民間企業が成功する可能性を明示し、政府が投資環境を改善する手助けをしている。
- 持続性確保。IFCは、コーポレートガバナンス・環境・社会面の発展における同公社の経験を活用して、顧客の操業を強化しプロジェクト金融部門全体のプラクティスを改善している。

2005年度業務結果要約

| | |
|----------------------------|-------------|
| 新規契約調印額： | 67カ国236件 |
| 契約調印総資金調達額： | 64億5,000万ドル |
| IFC自己勘定資金調達額： | 53億7,000万ドル |
| 他の金融機関から動員した協調融資： | 10億800万ドル |
| 総契約調印額ポートフォリオ： | 193億ドル* |
| 契約調印額ポートフォリオに占める融資比率： | 77% |
| 契約調印額ポートフォリオに占める株式保有比率： | 17% |
| 契約調印額ポートフォリオに占める保証比率： | 5% |
| 契約調印額ポートフォリオに占めるリスク管理商品比率： | 1% |

* 2005年6月30日現在のIFC自己勘定

2005年度の資源と所得

| | |
|---------|-------------|
| 営業収益： | 19億5,000万ドル |
| 純利益： | 20億2,000万ドル |
| 払込資本金： | 24億ドル |
| 内部留保： | 74億ドル |
| 本年度借入金： | 20億ドル |
| 純資産： | 98億ドル |

2005年度営業のハイライト

COURTESY OF NEWMONT

IFCの営業収益は、2004年度の9億8,200万ドルから2005年度には19億5,000万ドルへと記録的に増加した。大きな伸びは、投資売却による相当額の実現利益、株式保有ポートフォリオからの多額の配当収益、融資ポートフォリオからの収益増加及び損失準備金取消のプラス・インパクトを反映している。

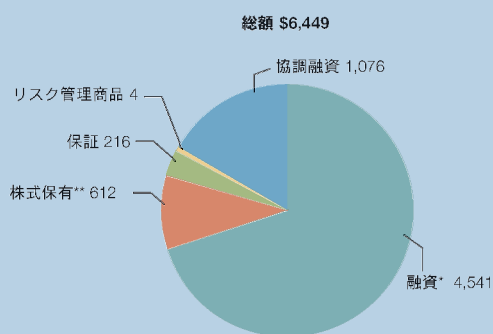
2005年6月30日現在、IFCの契約調印額ポートフォリオは193億ドルで前年度より7.6%増加した。またIFCは、53億ドルのシンディケートドローンに参加者の為に保有・管理した。契約調印額ポートフォリオには119カ国1,314社が含まれていた。

手段

IFCはあらゆる投資商品を提供している；また同社は、民間セクター企業及び関連政府機関に技術援助・アドバイザーサービスの提供を増やしている。

2005年度商品別契約調印額

IFC自己勘定と協調融資を含む（単位百万米ドル）



* 融資型準株式商品を含む
** 株式型準株式商品を含む

またIFCは、保証・融資・株式投資に関連するストラクチャードファイナンスを通じて11億ドルを動員した。

活動内容

IFCはメンバー開発途上国の全商業部門で活躍している。資金調達には、産業のベストプラクティス、コーポレートガバナンス、環境・社会問題及び現地小企業との結び付きに関する支援がしばしば伴う。

2005年度セクター別契約調印額

IFC自己勘定と協調融資を含む（単位百万米ドル）

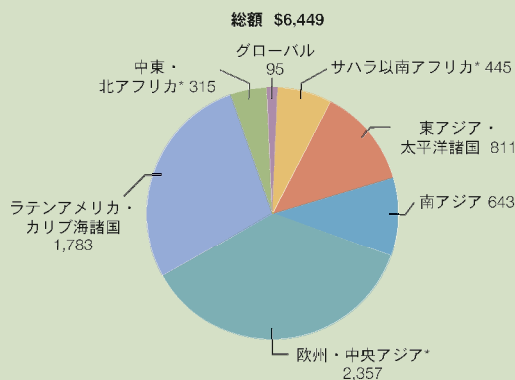
| | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 金融・保険 | \$2,227 | 34.5% |
| 運輸・倉庫 | 561 | 8.7 |
| 産業・消費財 | 552 | 8.6 |
| 原料金属 | 330 | 5.1 |
| パルプ・製紙 | 327 | 5.1 |
| 公益事業 | 322 | 5.0 |
| 石油・ガス・鉱業 | 314 | 4.9 |
| 農業・林業 | 278 | 4.3 |
| 化学 | 237 | 3.7 |
| 非金属鉱物製品製造 | 222 | 3.4 |
| ホテル・観光 | 203 | 3.1 |
| 情報通信 | 200 | 3.1 |
| (合同運用) ファンド | 188 | 2.9 |
| 卸売・小売 | 143 | 2.2 |
| 食品・飲料 | 139 | 2.2 |
| 繊維・衣料・皮革製品 | 84 | 1.3 |
| プラスチック・ゴム | 41 | 0.6 |
| 教育 | 39 | 0.6 |
| 建設・不動産 | 23 | 0.3 |
| 保険衛生 | 20 | 0.3 |
| 総契約調印額 | \$6,449 | 100% |

活動地域

IFCは、全開発途上地域の企業や金融機関に投資する。2005年度年次報告書には契約調印済み投資内容が網羅されている。（一地域以上を包含するプロジェクトは「グローバル」として分類してある。）

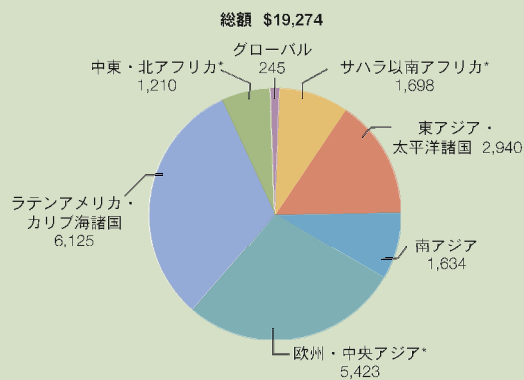
2005年度地域別契約調印額

IFC自己勘定と協調融資を含む（単位百万米ドル）



2005年度地域別投資ポートフォリオ

IFC自己勘定（単位百万米ドル）



*一部の金額は、公式にはグローバルプロジェクトとして分類されている投資の地域配分額を含む。

2005年度地域的展望

本年度の詳しい情報についてはIFC年次報告書参照。

サハラ以南アフリカ

契約調印額：14カ国30件

総資金調達額：IFC自己勘定で4億4,500万ドル

IFCは投資と技術援助との組み合わせでアフリカ開発に対処している。IFCの新規投資には、ナイジェリアのマイクロ金融機関とセメント製造業者、南アフリカの銀行との黒人に対する経済的権限付与取引、並びにガーナの私立校に対する革新的資金調達が含まれている。技術援助は、世銀のIDAとの共同プログラムである新しいアフリカ民間企業パートナーシップなどを通じて行なわれている。焦点はリース、輸出奨励、事業規則の改正、及びHIV・エイズの挑戦に対する企業の対応支援である。またIFCは、本年度いくつかのインフラストラクチャーに関してアドバイザー委託サービスを開始し、マダガスカルで港湾の民間委譲を成功裡に完結した。

東アジア・太平洋諸国

契約調印額：11カ国40件

総資金調達額：8億1,100万ドル

IFC自己勘定で7億4,000万ドル

協調融資で7,200万ドル

IFCの焦点は、地域金融制度の一層の深化・分散化、コーポレートガバナンスと環境業績の強化、及びインフラストラクチャーへの民間投資環境改善を含む。本年度は住宅金融、リース、一層小さな企業への貸出増を支援する金融セクター投資が見られた。マレーシアでは、IFCがイスラム的金融方式を使って債券発行を初めて超国家的に手がけた。インフラストラクチャーには、中国での船舶会社及びフィリピンでの水力発電・光電気を結合する電力流通とがある。IFCの四地域の施設が行なった技術援助には、中国とインドネシアの産業用に持続的な供給網を増やす革新的パートナーシップがある。

南アジア

契約調印額：2カ国20件

総資金調達額：6億4,300万ドル

IFC自己勘定で4億4,300万ドル

協調融資で2億ドル

IFCは、製造会社に国際競争力がつくように、また観光プロジェクトでは地域の会社が津波から立ち直れるように、水道・電力・電信プロジェクトでは経済成長が持続し地域社会の生活の質が向上するように投資した。新規投資には、港湾管理会社、商業的水力発電所、及び薬品・バイオテクノロジー・IT外注部門で発展途上中の企業が含まれている。IFCの南アジア企業開発制度は、引き続き事業環境改善、事業サービス業者強化及び一層小さな企業に対する一層容易な資金調達を手がけている。

欧州・中央アジア

契約調印額：15カ国67件

総資金調達額：24億ドル

IFC自己勘定で19億ドル

協調融資で4億1,900万ドル

同地域の金融セクターで、IFCは既存組織の再構築・民営化、住宅金融・リース会社・証券化の発展促進面で引き続き活動している。インフラストラクチャー面で、同社はエネルギー・運輸セクターへの投資を重視し、またEC参入の可能性のある国々での公益事業民営化を手助けしている。またIFCは、一層小さな企業が資金調達や専門事業知識をもっと得られるようにし、供給チェーン構築・市場参入を通じて戦略産業を目標にし、また投資環境改善とコーポレートガバナンス強化を行なっている。地域投資例には、自動車リース業、家庭電器製品製造業、割引小売業、ガス供給会社、及び病院がある。

ラテンアメリカ・カリブ海諸国

契約調印額：17カ国54件

総資金調達額：18億ドル

IFC自己勘定で14億ドル

協調融資で3億8,500万ドル

IFCは、広範囲の企業に対する長期資金調達と社会・経済面を含め広範にインパクトのある投資を重視している。本年度、IFCは、エネルギー・運輸セクターのプロジェクトと共にインフラストラクチャー投資不足問題を取り上げ、引き続き現地資本市場でストラクチャードファイナンスなど革新的金融商品を導入した。契約調印済みプロジェクトは、大手製造業者から風力発電所、大学また電信・航空・港湾・流通セクターの企業に及ぶ。技術援助は、同地域でIFCの仕事が急速に伸びている部門で、民営化、事業規則の整備、市場参入改善、社会的責任の高い企業、また小企業の競争力強化に焦点を合わせている。

中東・北アフリカ

契約調印額：8カ国21件

総資金調達額：3億1,500万ドル

中東・北アフリカ民間企業パートナーシップの創設と共に、IFCは資金調達に加えて同地域全域で技術援助提供の可能性が増大した。この新しい制度では、イラク銀行員教育を手助けし、レバノンでは銀行のコーポレートガバナンスを監視、アフガニスタンやイエメンではリースを奨励している。本年度IFCの投資プログラムは、金融セクター、製造業、石油・ガス、教育、農業及びインフラストラクチャーに及んでいる。またIFCは、モロッコの灌漑やサウジアラビアの空港に関してインフラストラクチャーのアドバイザー・サービスを提供している。同社は、イスラム金融商品であるムラバハ制度に対して史上最初の資金を提供し、また同借入の一部として、モロッコのディルハム建て債券発行に着手した。



KENJI YUHAKU

開発のインパクト

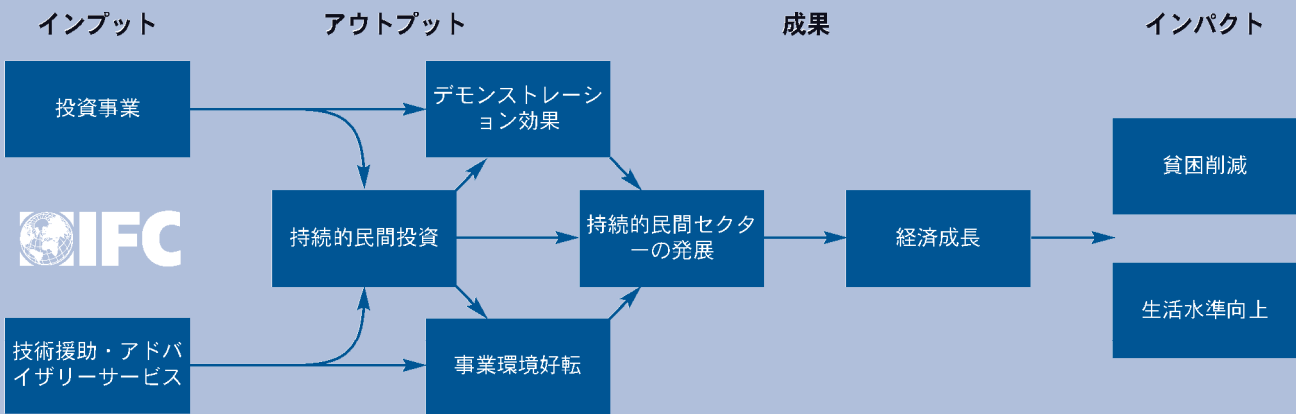
独立した業績評価グループがプロジェクト事業業績、経済的持続性、環境へのインパクト及び民間セクターの発展という点で十分に成長したプロジェクトを評価するが、その測定によると、IFCは引き続きプラスの発展インパクトを示している。本年度の調査では下記の傾向が見られる：

- 2001–2003年度に承認されたプロジェクト業績評価を総合すると、事業の59%が発展にプラスの貢献をした。
- IFCプロジェクトの成功率は全般的に好転してい

るが、環境・社会・健康面及び安全性の業績は他の結果と同歩調では好転していない。

- IFCは、金融市場、インフラストラクチャー、情報テクノロジー及び健康・教育の主要セクターで一層投資を増大し一層成果を高めており、2005年度には総契約調印額の割合が55%に上昇した。
- 最近の契約調印額のリスク率は改善した。
- IFCは資金調達手段が最も難しい貧困な国々・地域に対して資源を向けることに成功した。

IFC事業によりどのように貧困が削減し人々の生活が改善されるか



情報
IFCの年次報告書及び商品・サービス情報に関しては、IFC企業渉外部まで御連絡下さい。

International Finance Corporation
2121 Pennsylvania Avenue, NW
Washington, DC 20433 USA
電話 202-473-3800
ファックス 202-974-8384
www.ifc.org

